

# すべての戦争の裏にある戦争



2024年4月6日 第1課

Justina



さて、天で戦いが起こった。ミカエルとその使いたちが、竜に戦いを挑んだのである。竜とその使いたちも応戦したが、勝てなかった。そして、もはや天には彼らの居場所がなくなった。

(黙示録12：7.8 新共同訳)



さて、天では戦いが起った。ミカエルとその御使たちが、龍と戦ったのである。龍もその使たちも応戦したが、勝てなかった。そして、もはや天には彼らのおる所がなくなった。  
(黙示録12：7.8 口語訳)

私たちは銀河系規模の争いの中に生きている。たとえ私たちがそれに気づいていなくても、あるいはそれが可能だと信じていなくても、対立は現実のものなのだ。

対立する力は霊的なものであり、私たちには見えない（エフェ6:12）。しかし、私たちは戦争の影響を感じることができる。災害、不道德、死....。

危機に瀕しているのは、神の支配そのものであり、天使と墮落していない世界の忠誠だった。今日、危機に瀕しているのは、あなたと私の忠誠である。



-  紛争の始まり
-  天国における反乱
-  地上の反乱
-  愛による逆襲
-  大祭司の願い

# 紛争の始まり

あなたは造られた日から、あなたの中に悪が見いだされた日までは、  
そのおこないが完全であった。(エゼキエル 28:15)



エデンに、エバに神への不信感を煽る存在がいたという  
事実は、人類が存在する以前から神への反逆があった  
ことを暗示している (創3:1)。

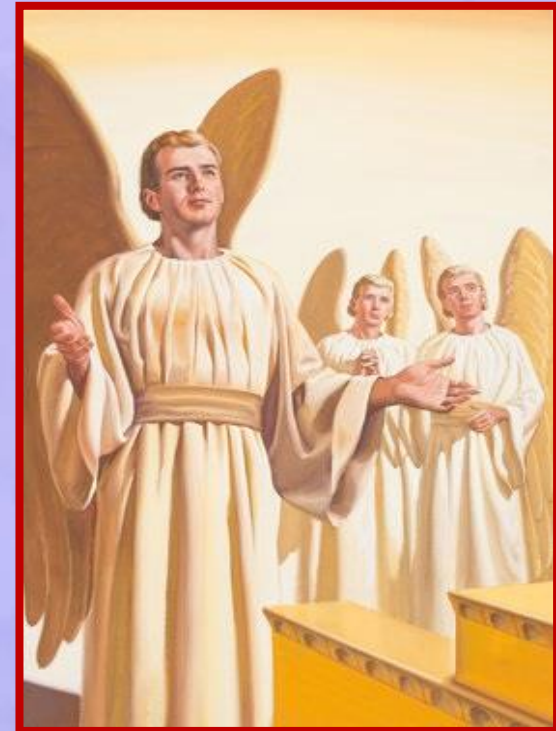
イエスは、神と被造物との間に不信を植え付けるこの存在  
を「敵」であり「悪魔」と教えている (マタ13:39)。



神が悪魔を創造したのか、つまり神が邪悪な存在を創造したのか。

聖書は、悪魔はルシファーと呼ばれる天使だと教えている  
(イザ14:12)。この天使は完全に美しく造られた (エゼ8:12)。  
彼は、天使が目指すことのできる最高の地位、すなわち保護  
ケルブに昇格した (エゼ28:13-14)。

ルシファーが完全であったなら、なぜ悪魔になったの  
だろうか？ 神とルシファーの対立はどのようにして始まった  
のだろうか？ 神はルシファーに、創造されたすべての存在と  
同様に選択の自由を与えたが、不可解なことに、ルシファー  
は反逆を決意し、神の玉座を占めようとした (エゼ28:15；  
イザ14:13-14)。



日曜日

ルシファーと同じような失敗をしないために、  
あなたにはどんなことができますか？

# 天国における反乱

その尾は天の星の三分の一を掃き寄せ、それらを地に投げ落した。・・・  
(黙示録12:4上旬)



ルシファーは天の王座を篡奪しようとする欲望の中で、神の統治の正義について天使たちに疑念を植え付けた。彼らはみな自由ではないか？なぜ過酷で、おそらくは不正で、気まぐれな法律に服従するのか？

ルシファーは告発者サタンとなった（黙示録12:10、ヨブ記1:6、9-10）。彼は、態度を改めるようにとの神の愛に満ちた訴えをすべて拒絶した。



反乱は公然の争いとなり、それぞれの天使が決断を下さなければならない戦争となった。天使の1/3はサタンに従ったが、残りは神に忠実であった（黙12:4上旬）。

今日も戦争は続いている。サタンはまだ活動している。彼はすべての人を神への反逆に引きずり込もうとする。そこには二つの側面しかない。神の律法に従おうとする者と、それを拒否する者だ。選ぶのは私たちだ（申30:11、16、19、ヨシュ24:15）。



月曜日

なぜ、三分の一もの天使がルシファーに従ったと思いますか？



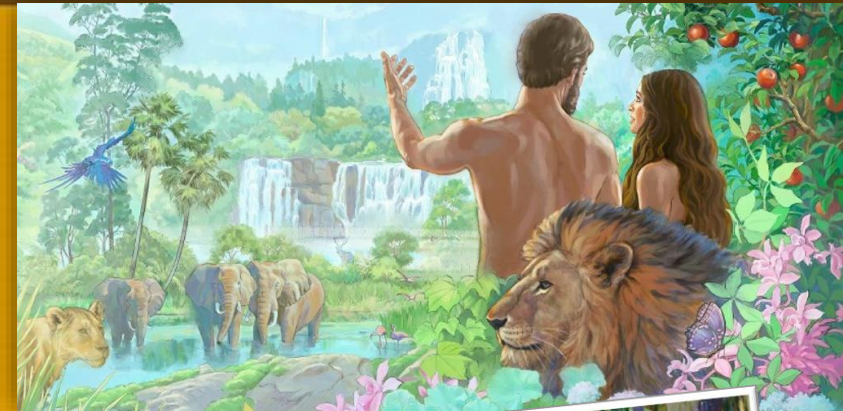
「偉大なる神は、この欺瞞の首謀者を即座に天国から追放することもできたが、それは神の目的ではなかった。神は反逆者たちに、御自身の御子と忠実な天使たちに対して自分たちの力を測る公正な機会を与えようとされたのだ。その戦いの中で、天使たちはそれぞれ自分の味方を選び、それを皆に明らかにするのだ。[中略] もし神がその力を行使してこの反抗的な指導者を罰していたら、破壊的な天使たちは暴露されなかったであろう。」

# 地上の反乱

神は言われた、「あなたが裸であるのを、だれが知らせたのか。食べるなど、命じておいた木から、あなたは取って食べたのか」。(創世記 3:11)

神は天使たちを罪のない完全な環境で創造された。同様に、神は完全で罪のない環境で人間を創造された(創1:31)。

天使たちと同じように、神も私たちに自由な選択の力を与えられた。アダムとエバがその自由を行使できるように、神は簡単な命令を与えられた：「善悪を知る木からは食べてはならない」(創2:17)。

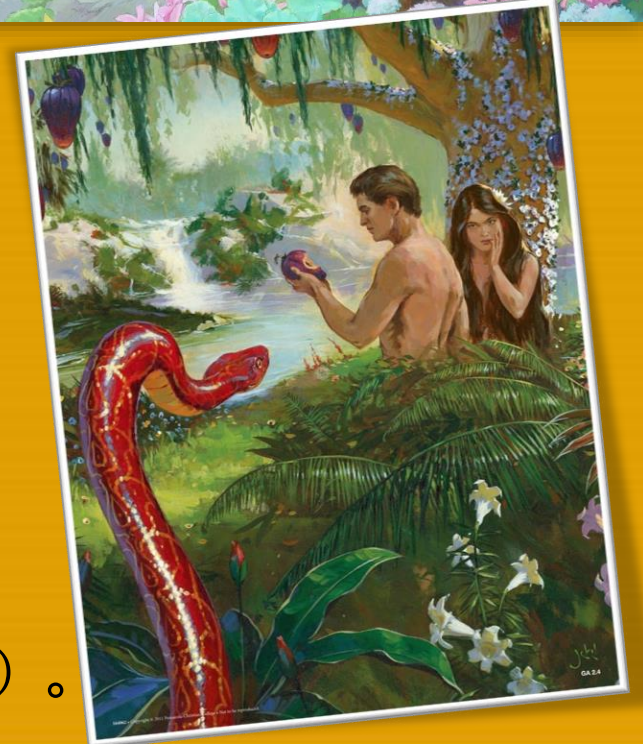


サタンが彼らに疑いを抱かせることができたのは、その木のある場所だけだった。狡猾にも、サタンは目的を達成した。アダムとエバは神を疑い、神に背き、命の源から遠ざかった(創3:6、9-13、19)。アダムは罪が入り込む扉を開き、こうしてすべての人に死が訪れた(ロマ5:12)。

それ以来、私たちは痛み、病気、死が目立つ世界に生きてきた。

私たちは皆、アダムの罪を償っているのだろうか？

「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっています・・・」(ロマ3:23)。



火曜日

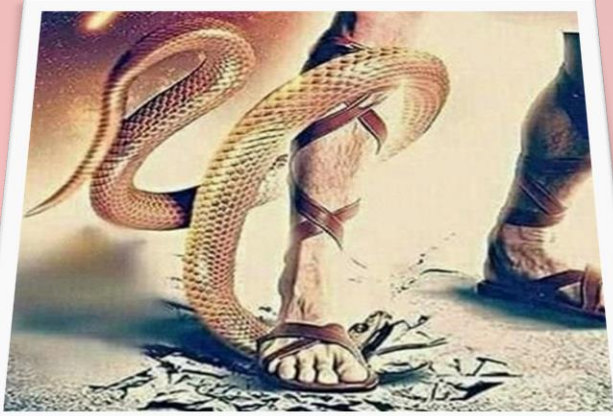
なぜ神様はルシファーに与えたのと同じ選択  
の自由をアダムとエバ、そして私たちにも  
与えられるのですか？

# 愛による逆襲

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。(1ヨハネ 4:10)

神は、人が不従順のために受けなければならない呪いを伝える前に、アダムとエバに彼らと人類の贖いの計画があることを告げられた(創3:15)。

人類は自ら進んで創造主から離れたのだ。しかし、神は恩知らずな子供たちを見捨てるどころか、想像を絶するほど彼らを愛することによって、神の真の御性質を明らかにされた(ヨハ3:16)。



死が罪人の永遠の運命である必要はない。イエスはご自分のいのちをもって罪の代価を支払うことによって、その愛を示された(ロマ5:8)。



私たちの中には、神の愛に値するものは何もない。しかし、イエスがカルバリーで流された血の一滴一滴によって、神は私たちにこう言われる。



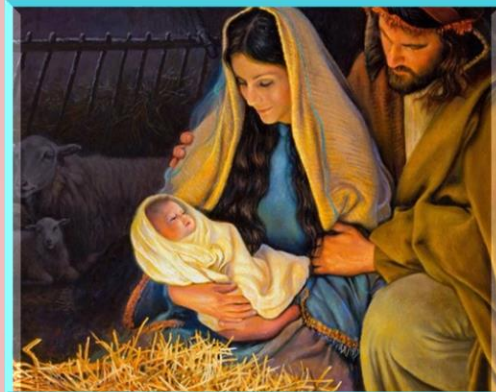
# 愛による逆襲

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。(1ヨハネ 4:10)

イエスはどのように私たちに愛を示されたのだろうか？



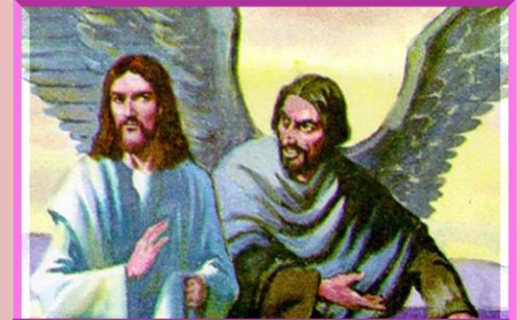
万物は言（御子）によって創造された  
(ヨハ 1:3)



言葉は肉体となった  
(ヨハ 1:14)



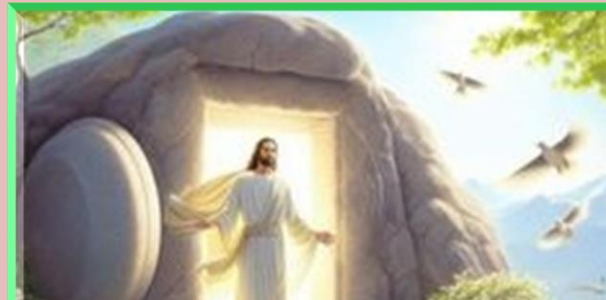
彼は私たちと同じように、苦難、  
苦しみ、飢え、痛みを経験した。  
(イザ53:3、マコ11:12)。



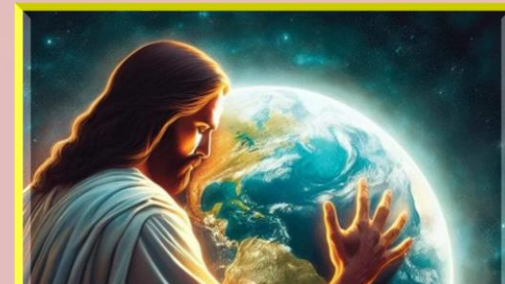
彼は私たちと同じ  
ように誘惑された  
(ヘブ4:15)。



義人である彼は、私たちの罪の  
ために進んで苦しみを受けた  
(1ペテ3:18、ヨハ10:17-18)。



死んで死者の中からよみがえり、  
私たちに永遠の命を保証してくださった  
のである(ロマ6:3-4)。



そして、これら  
すべては愛から  
始まった  
(1ヨハ4:10)。

水曜日

あなたは、神様があなたを真に愛しておられるか、疑ったことはありませんか？

# 大祭司の願い

そこでまた、彼は、いつも生きていて彼らのためにとりなしておられるので、彼によって神に来る人々を、いつも救うことができるのである。(ヘブライ 7:25)

今日も、イエスは天の聖所で私たちのために執り成してくださっている(ヘブイ9:24、7:25)。

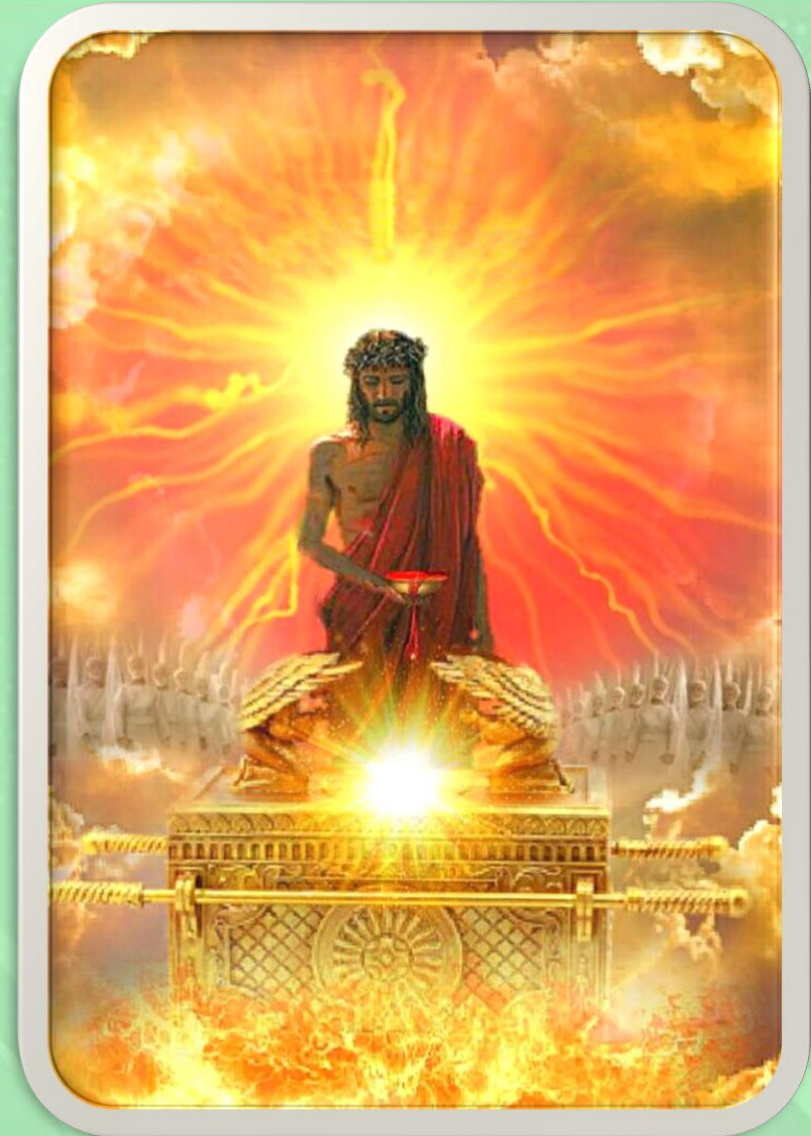
十字架上で流された血によって、イエスは私たちを、そして宇宙のすべての住人に、天国にふさわしい、義なる完全な民として御父に示される。

ですから、私たちはイエスを通して神の前に確信をもって近づくように招かれています(ヘブ4:15-16)。



イエスは、私たちの人生のあらゆる必要をイエスに頼ってほしいと願っておられる(ヨハ14:13-14)。恐れのあるところには平安を、罪の意識のあるところには赦しを、弱さのあるところには力をもたらししてください。

イエスの最大の望みは、私たちと共に永遠に生きることである(ヨハ17:24)。あなたにとっても最大の望みは？



木曜日

あなたをこよなく愛されるキリストに、  
今、あなたが一番願うことは、なんですか？



「誘惑があなたを襲うとき、思い煩い、当惑、暗闇があなたの魂を包み込むように見えるとき、あなたが最後に光を見た場所を見なさい。キリストの愛のうちに、キリストの守護のもとに憩いなさい。罪が心を支配しようともがくとき、罪責感が魂を圧迫し、良心の重荷となるとき、不信仰が精神を曇らせるとき、キリストの恵みが罪に打ち勝ち、闇を消し去るのに十分であることを思い起こしなさい。救い主との交わりに入るとき、私たちは平和の領域に入る」。